

松江市ボランティアセンターだより

つなぐ

第19号

令和4年9月発行



島根県立松江工業高等学校生徒さんによる
車いすのメンテナンス

松工魅力化
コンソーシアム活動

機械科の課題研究の1つとして、地域企業・地域住民と協働することにより地域産業の発展に寄与できる心豊かな技術者育成に取り組まれており、この度、当センターが無償で地域の方に貸し出しを行っている車いすの点検・修理を機械科の生徒さんが行って下さいました。

今後も地域の自転車店の方に技術指導を仰ぎながら取り組まれます。

引き続きよろしくお祈りします！



— コロナ禍の衛生対策として消毒作業も丁寧にされ引き渡して下さいました —



紹介
第3回

ボランティアセンターに登録している団体の紹介

ボランティア がつながる  ボランティア へ

なかや

落語

中屋ごんべえ さん

「出雲弁保存会」という団体に所属しているということもあり、思い付きで始めた「出雲弁落語」。この「出雲弁落語」をひっさげて ボランティアセンター に依頼のあった皆様のもとで「出前寄席」を行っています。

客席の皆様と私が 落語を通して ひとつになる、

これぞ まさに私にとって「至福の時間」

ボランティアというのは「誰かに何かをしてあげる」というものではなく「自分に喜び・やりがいを与えてくれるもの」…

この気持ちでこれからも頑張っていこうと思います。



ふくし教育取り組み紹介 ～小学校編～

松江市ボランティアセンターでは、社会が複雑化・多様化し、コロナ禍に象徴されるような地域の関係が希薄化するなか、生き生きと安心して地域で暮らすために「ふくし教育」を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりの好循環を目指しています。

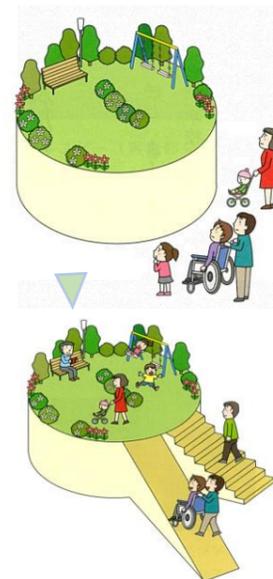
ここでは、市内の学校で実施している内容について紹介をさせていただきます。

松江市立出雲郷小学校

9月5日に3年生の皆さんに向けてあいサポーター研修を実施しました。あいサポートメッセンジャーさんからは、障がいがある家族と過ごしてきたご自身の経験も交えてお話をいただきました。

お話の中で、メッセンジャーさんが高いところにある公園に、誰でも行けるようにするにはどうすればいいかと絵を見せながら質問をすると、児童の皆さんからは色々なアイデアがでていました。

皆さんはこれからも総合的な学習の時間で、「いろいろな人とともに生きていくこと」を考えていかれるとのことでした



松江市立竹矢小学校

今年度は年間を通して4年生の皆さんと「ふくし」について学んでいきます。

9月7日には車いすユーザーの方から車いすを使った生活についてお話を聞き、9月13日には実際に車椅子の体験学習を行いました。

はじめに、車いすユーザーさんからお話をいただき、車いすに乗った時の目線などを実際に体験してみました。

皆さんとは、これからも一緒に地域に出かけたりして「ふくし」について学びを深め、誰もが一緒に楽しく生活をするためにはどうすればいいのかを考えていきます。

体験学習の実施にあたっては、近くの施設東寿苑の職員さんにご協力をいただきました。



研修会・講座等のご案内

下記のとおり受講生の募集を行っています。

定員まで残りわずか

■訪問型サービスA従事者養成研修

【開催日】10月19日(水)～21日(金)

【目的】

松江市総合事業訪問型サービスA(身体介護を含まない掃除・洗濯・食事の準備・調理等の在宅サービス)に従事する者が必要な知識、技能を習得することを目的に実施します。

【対象者】

満18歳以上の松江市民で、訪問型サービスAに従事が予定される方、又は当該事業への従事を希望する方。

【会場】松江市総合福祉センター4階教養室他

【参加費】無料

(ただし、調理実習負担あり500円程度)

【定員】10名(先着順)

同時開催

■入門的研修

【開催日】10月19日(水)～24日(月)

【目的】

介護人材の裾野を広げ、福祉・介護サービス事業や地域活動を支える人材を育成することを目的に実施します。

【対象者】

松江市在住で介護に関心があり、現在介護職として就業していない方、これから介護の職場に就職を希望する方。

【会場】

松江市総合福祉センター4階教養室他

【参加費】無料

【定員】15名(先着順)

※10月13日(木)必着

■くらし安心サポート(くらサポ)セミナー

【内容】くらし安心サポート(くらサポ)とは、自分の町を地域で支え合うステキな町にするためのボランティア活動の総称です。ボランティア活動の豆知識やコミュニケーションのコツ、暮らしを支えるサービス等を紹介します。

【対象者】松江市内在住で、地域の支えあい活動に興味があり、実践に必要な知識を学びたい方。

【日時】令和4年10月14日(金)9時30分～15時15分

【会場】松江市総合福祉センター4階教養室

【参加費】無料 【定員】30名(先着順)

※10月7日(金)必着

■お願い

受講にあたっては、発熱や咳などの風邪症状がある方は参加をご遠慮願います。研修中はマスクの着用をお願いします。新型コロナウイルス感染症の状況により延期とする場合がございます。

■お申込みは下記連絡先へお願い致します。

「学んでみませんか」介護のコツ！
コミュニケーションのコツ！



松江刑務所×松江市ボランティアセンター

松江地区矯正展に出展して

9月17日(土)から18日(日)にかけて開催された、第30回松江地区矯正展に参加をしました。

主催の松江刑務所とは、昨年度から社会貢献作業として、シトラスリボンの作成に協働して取り組んでいます。

当日は、シトラスリボンの製作体験コーナーにて、来場者の皆様に取り組みについて紹介し、実際にシトラスリボンを製作しました。

家族連れの方などたくさんの方がお越しになり、当センターの取り組みを地域の方に知っていただく、いい機会となりました。



ありがとうございました。

収集品を届けてくださいました！

8月24日に、松江市立皆美が丘女子高等学校の生徒さんから使用済みプリペイドカードをご寄贈いただき、松江市ボランティアセンター長が受取りをさせていただきました。

いただいた使用済みプリペイドカードは、発展途上の女性や子どもの支援活動をしておられる団体にお送りさせていただきます。

ありがとうございました！

送付用の郵送料は、皆さまがご寄贈下さいました「未使用・書損じはがき」を切手に交換し郵送料に充てさせていただきます。



ボランティア保険
お知らせ

新型コロナウイルス感染症に関する「入院保険金等」の取扱いが見直されます。

2022年9月26日以降、宿泊施設・自宅での療養を「入院」とみなして保険金をお支払いする取扱いの対象を「重症化リスクの高い方(※)」とされます。(※) ・65歳以上の方 ・入院を要する方 ・重症化リスクがあり、新型コロナ治療薬の投与または新型コロナ罹患により酸素投与が必要な方 ・妊婦

[お問い合わせ先]

ボランティアの事・保険の事・ご不明な点・ご要望など下記までお問合せください。

松江市ボランティアセンター

TEL (0852) 27-8388

FAX (0852) 24-1020

(松江市千鳥町70番地 松江市総合福祉センター2階)

メールアドレス : volunteer@shakyou-matsue.jp